

第一生命経済研究所のホームページご紹介

アドレス：<http://group.dai-ichi-life.co.jp/cgi-bin/dlri/top.cgi>（「第一生命経済研究所」で検索可能）
12月上旬までに上記ホームページに登場したレポートテーマの一例をご紹介します。このほか数多くの詳細な経済分析レポートが掲載されていますので、経済研レポートと合わせてご活用ください。

～耐震偽装対応の法制の整備が下降局面の日本経済にあたえる影響について分析しています。

2008/11/26 [「改正建築士法の施行を控えて」](#)

掲載カテゴリ：日本経済分析チームによる「日本経済の羅針盤」

～毎週、市場に起きる新しい動きについてコメントしています。

2008/12/15 [「Market Watching Weekly Market Report」](#)（毎週月曜日配信）

掲載カテゴリ：畠峰義清の「マーケットウォッチング」

～金融市場の環境が悪化するもとでのわが国家計の金融行動の分析についてコメントしています。

2008/11/28 [「家計の金融行動に関する世論調査」（2008年）を読む」](#)

掲載カテゴリ：熊野英生の「金融市場の謎を解く」

～世界金融危機と米国経済の状況、アジア、新興地域の経済情勢を分析します。

2008/12/18 [「海外 経済指標・イベント予定 “Weekly Global Economy”」](#)（毎週木曜日配信）

2008/11/28 [「中国経済：2008年～2010年の中国経済見通し」](#)

2008/11/20 [「アジア（インド、NIES、ASEAN4）短・中期経済見通し（2008年11月版）」](#)

掲載カテゴリ：桂畑誠治の「米国経済を探る」、「アジア・新興諸国経済」

編集後記

あけましておめでとうございます。本年も皆様の関心が高い経済のテーマについて、より多くの分析をご提供したいと思います。これまで同様、第一生命経済研究所ならびに経済研レポートをご愛顧のほど、よろしく願いいたします。



さて、相場の格言では昨年の子年は「繁盛」、今年丑年は「つまずき」である。今になってみると、一昨年までの高レバレッジ・バブル、昨年の世界経済のつまずきぶりからして、どうも格言は一年遅れだ。今年は一足早く来年寅年の「千里を走り」で苦境を脱することを期待したい。初夢に終わるかどうか。

(H. U)